

休日のお出かけに匠バス(観光特化型バス)はいかがですか?



木村さん(左)、宇佐美さん(右)

今年4月より(株)ジャルセルール中部支社から市の新産業創出戦略マネージャーとして配属されている木村浩幸さんと、(株)ANA総合研究所から市のブランド戦略マネージャーとして配属されている宇佐美貴史さんに公共交通を使ったプチ旅行を体験していただきました。その内容を紹介しますので、市内散策をする際の参考にしてみてください。



匠バス：右から、「かんかご号」「鳳凰号」「獅子号」

昨年4月から、高山祭の祭囃子、祭衣装の飛騨染、獅子舞をそれぞれモチーフとした「かんかご号」「鳳凰号」「獅子号」の3台のバス(匠バス)の運行を開始しました。観光客の利便性や回遊性の向上、市街地中心部への車両の流入抑制を図ることを目的に運行しています。



バス車内

続いて、別院前バス停から「東西線」に乗って、車窓から東山寺院群を眺め、濃飛バスセンターへ



天満駐車場

行ってきます!
まずは、「南北線」に乗って、古い町並へ
(バス停「天満駐車場」乗車)



濃飛バスセンターで「飛騨の里線」に乗り換え

「飛騨の里線」に乗り替えて、飛騨の里へ



古い町並み

観光客気分で古い町並をのんびりと散策(バス停「さんまち通り」下車)

特典

市営天満駐車場と不動橋駐車場を利用して、匠バスに乗車する場合は、駐車料金3時間分が無料となります(バス車内で駐車券の無料処理を行ってください)



飛騨染めのデザイン天井



高山の魅力を発信するディスプレイ



飛騨刺子の椅子

一位一刀彫の置き物

飛騨春慶のチラシ立て

車内全体

内装もとても魅力的です!
匠バスの内装は、天井に飛騨染の鳳凰がデザインされ、さらに飛騨の家具や飛騨春慶、一位一刀彫や飛騨刺子柄の椅子など、いたるところに飛騨の匠の技術があらわれ、乗るだけでも楽しくなるバスです。